

より良い市政をめざし、今回は10人が登壇

一般質問

明日を論戦!

一般質問とは、議員全員が年4回の議会定例会において、市政全般について問いながら、政策提案を行うものです。文章は本人の責任のもと掲載しています。QRコードより、同日に行われた質問者全員の動画をご覧ください。



ながくら こうじ 長倉 浩二 議員

動画はコチラ

空家対策の目標達成状況はどうか
空家バンク登録、改修事業等目標クリア

問 市民からはどのような相談があるか。

答 空家の解体補助事業に関する相談が118件、適正管理に関する相談が42件。

問 市への空き地等寄付の要件は。

答 明確な要件はないが、行政財産として利活用が見込めないものなどは受けられない。

問 相続した土地を国が引き取ってくれる制度とは。

答 相続土地国庫帰属制度がある。

問 改正空家対策特別措置法を市空家対策計画に早急に反映させるべきでは。

答 本年度の計画見直しに今回の法改正について盛り込む。

住宅耐震補助制度を見直さないか
他市の状況を踏まえ見直しを検討する

問 平成26年度からこれまでの耐震改修工事件数は。

答 平成28年度1件、平成29年度1件



増え続ける空き家

問 家全体でなく、普段滞在する時間が長い居間や寝室だけを工事することはできないか。

答 1棟全体の上部構造や地盤・基礎で評価されるのでできない。

問 市内業者や大工さんと契約すれば、補助金を上乗せする見直しはできないか。

答 まずは、耐震診断の市内業者利用に対する補助金上乗せについて検討する。



やまぐち はつみ 山口 初美 議員

動画はコチラ

児童生徒の健康診断について
6月末までに学校医が行なっている

問 小中学校の健康診断はいつ頃どのように行われているか。

答 受診できなかった児童生徒は何名か。

答 内科・歯科・眼科・耳鼻咽喉科検診を学校医が行なっており、受診できなかった児童生徒は122人。

未受診児の保護者に、学校医の属する医療機関で受診するよう依頼している。保護者負担はない。

種子法廃止後、種子を守る取り組みは
県や関係団体と連携し種子確保に努める

問 種子は地域の共有財産であり、これを守り安定的に供給できるようにすることが自治体に求められていると考える。

答 2018年に種子法が廃止されて以降、米・麦・大豆などの種子について、どのような取り組みがされてきたか。

答 県は主要農作物(稲・麦・大豆・サトウキビ)の優良な品種の将来にわたる安定的な生産及び供給を図ることを目的とした「鹿児島県主要農作物の種苗の安定供給に関する条例」を制定している。市独自の保存対象となる固有の種子はない。



うるしま まさと 漆島 政人 議員

動画はコチラ

地域住民と一緒に活用策に1事業者から提案があった

問 旧吹上キャンプ村跡地の活用策については、以前より地元からの要望や意見も出されており地域との関りは大きい。

答 地域と一緒に活用策を見出し、今後の活用策を見出していくことが、地域づくりのあるべき姿だと認識するが、見解は。

答 令和6年3月、森林環境譲与税を活用した旧キャンプ村跡地の民間提案の公募を行い、1事業者から森林体験施設の

が、県や関係団体と連携し、優良な種子確保に努めたい。

県は条例に基づき、県に適した品種の選定と優良種子の確保を行なっている。

現在も、ヒノヒカリ・あきほなみ・コシヒカリなどの品種につき指定種苗生産圃場を指定し、安定供給を目指している。

その他の質問

- 離婚後共同親権の導入でDVや虐待の当事者をどう守るか
- 脱原発について
- 吹上浜沖洋上風力発電計画について



学校検診の様子

提案があった。今回の活用策は、提言に沿い、期待する経済効果等も見込まれ、地域の発展に貢献できるものと考えている。

問 キャンプ村跡地活用については、他の施設との比較検討も含め、十分に熟考された様子もなく提案ありきで拙速に決定された印象が強い。

また、施設整備に市が森林環境譲与税を活用して7千万円を負担することも、それに見合う公益性が確保できる見通しは極めて低い。

この件は、全地域住民の理解が必要であるが市長の見解は。



跡地活用策としてアドベンチャー施設整備が計画



佐多 至 議員

動画はコチラ

今期障がい者計画における新たな政策は医療的ケア児支援体制の構築など

障がい者計画の策定では、前期でどのような課題が協議されたのか。

また、今期計画に、どのような新たな政策が反映されたのか。

障がい児の相談支援体制や医療的ケア児の環境整備、長期入院患者の地域移行支援、就労支援、親亡き後の障がい者支援の環境整備等の課題が協議された。

今期計画では医療的ケア児支援体制の構築、障がい児支援

体制の一環として、ペアレントトレーニングの実施、地域生活支援拠点の整備等新たに推進していく。

障がい児支援において、医療的ケア児支援の関係機関が協議する場の設置及びコーディネーターの配置に、どう取り組んでいくのか伺う。

協議する場として、子ども支援部会を中心に構成した医療的ケア児支援連絡協議会を開き、支援方策について協議を行う予定である。

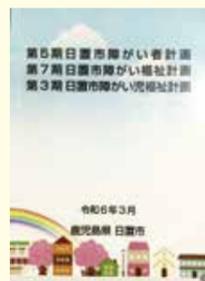
コーディネーターは、基幹相談支援センターに2名のほか、4民間相談事業所に5名いるが、今後は民間事業所に増員を呼びかけていく。

障がい児支援の充実はどう取り組むのか サービス質の平準化や給付費の適正化へ

障がい児の支援におけるサービス支給量の増加傾向をどう捉え、支援体制の充実はどう取り組んでいくのか伺う。

増加の要因は、サービス提供事業所が増えたことで利用人数の増加が考えられ、サービスの充実につながっている。

今後は、サービスの質の平準化や給付費の適正化を課題に、基準整備に取り組む。 ※子どもの行動を分析し、養育スキルを習得することを目的とするもの。



今回策定された新たな計画



坂口 洋之 議員

動画はコチラ

自治会の運営上の課題は何か 会員高齢化と役員のなり手不足である

自治会の4地域ごとの加入状況は。

東市来92・8%、伊集院87%、日吉86・9%、吹上93・9%で、全体では89・5%である。

自治会の加入促進には、市としてどんな支援が必要か。

自治会加入促進マニュアルを作成し、加入促進へ助言をしている。

自治会の情報発信、デジタル化への進捗状況はどうか。 電子回覧板にお

美山観光の現状と課題は何か 職人の高齢化と後継者不足である

いては、先進自治体の情報収集や、DX推進会議での情報共有をはかっている。

自治会育成交付金の見直しが必要ではないか。

補助金算定基準の見直しの必要性について、今後、自治会長連絡協議会と協議したい。

自治会統合運営交付金を復活させ、統合を希望する自治会への財政的な支援が必要ではないか。

交付金や補助金等の支援制度を検討する必要がある。

日置市職員の自治会担当制度の基本的な考え方は。

自治会長の相談役で、各課の取りつぎ等の役割もある。

自治会長との協議、検証はあるのか。

これまで特にな

クラフトマンヴィレッジ美山についての本市の考えは。

伝統工芸とアート観光の具体的なモデルとして、美山地区で実施する。

美山地域の案内看板が不足しており設置が必要では。

地域の方や関係者と協議し対応する。



クラフトマンヴィレッジ美山の様子



中村 清栄 議員

動画はコチラ

保育所等への入所の課題改善はされたか 保育所の新設・増設により改善の見込み

昨年、保育のおしごと支援センターを開設したが、人材確保の効果は。

センターを通じて、18人の保育人材が日置市内事業所で就労。

今後「小1の壁」を打破すべく、余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の活用計画

令和7年度から5年間の放課後児童クラブの必要量を推計し、必要な利用定

員を確保する。 子育て世帯は、こういった施設整備を望んでいるのか。

未就学児の待機児童対策や、放課後児童クラブの拡充が必要であると考える。

児童クラブの受け入れの改善状況は 定員枠の拡充のための移転支援など実施

子ども・子育て支援事業計画策定のアンケート調査で、「充実を図って欲しい支援は」の回答で、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」という回答が75・6%だったが、この結果について市の考えは。

地域子育て支援センターを、今後SNSやホームページ、子育てアプリなどで周知すると共に、連携を強化



香川県宇多津町にある多世代交流施設「南部すくすくスクエア」

現状では、喫緊の課題である待機児童対策に力を入れていきたい。

本市においても、さらに豊かな子育て支援として検討できないか。

香川県宇多津町の多世代交流施設は、子育ての拠点として、平日は午後9時、土日は午後5時まで気軽に、未就学児などが遊べる施設で、カフェや中高生が勉強できるスペースもある。



黒田 澄子 議員

動画はコチラ

手話言語情報コミュニケーション条例の市の実情を踏まえて施策を推進していく

合理的配慮の文言が入っている熊本県大津町の条例を、市はどう考えるか。

町の責務・町民、事業所の役割・学校設置者の取り組み・災害時の措置が具体的に明記されている。

本市も施策を検討の際、参考にしたい。

市の取り組みは。 点字・声の広報紙・窓口へ拡声器と翻訳機や手話通訳者を設置している。

条例制定の考え

障がいのある方が特性に合わせたコミュニケーション手段を使用すること、お互いに理解しあう機会の確保は重要である。 やるべき施策を積み上げていく。

紙おむつリサイクルの実施を

実現に向けて検討していく

本市で平成29年に紙おむつの資源化を考えるシンポジウムを開催、リサイクル計画もあったが、どうなっているのか。

固形燃料化への検討をしたが、高分子給水ポリマーの塩素問題が解決できず、実施に至っていない。

本市の使用済み紙おむつ排出量・燃やすための燃料費・

発生するCO₂は。

紙おむつの推計排出量は年間約552トン・燃料費約1180万円・CO₂約104トンである。

本市が取り組むとしたら、どのような方法を考えるか。

水平リサイクルが望ましいが、処理コストが高く、近年、炭素化の実証実験も行われているため、固形燃料化にこだわらず検討。

その他の質問

不登校児童生徒の健康診断を校医以外にも無料化に

窓口に軟骨伝導集音器の設置を



手話言語・情報コミュニケーション条例を



とみぞき かつひこ
富迫 克彦
議員

動画はコチラ

人口減少を抑制するための対策について 子育て世代に選ばれる街づくりを進める

問 平成17年10月、年齢が10歳で小学校4年生だった子どもたちは505人いたが、18年経過し、28歳になった昨年10月には、295人となつている。

答 このことについて、どのように分析しているか伺う。

問 市内に大学等の高等教育機関が無いことなどから、学生の進学や就職による転出の影響が大きいものと考ええる。

答 市の出生者数、

ここ2年間は286人、277人と300人を割込むところまで減少している。民間組織「人口戦略会議」は、若い世代の女性が減少することで「消滅の危険性が高まる」としている。

問 このまま若い世代の転出が増えると消滅の危険性が高まるのではと危惧するがどうか。

答 市内での雇用の場の創出や保育所等の整備に代表されるように、子育てし易い街として、若い世代に選ばれるよう取り組みを進めていきたい。

問 市の奨学金制度を利用して、返済免除を受けている方々の人数について伺う。

答 現在、2人が貸

与中で、10人が返還中。

問 返還免除については、居住要件の5年を満たす令和7年度から5人が対象者になる。

問 長島町の「ぶり奨学金制度」は、進学のため金融機関から借入れた教育ローンの返済を補てんする制度のようだが、同じように市に帰りたいと思わせるように奨学金制度を充実させる必要があると考えますが、どうか。

答 まずは、市の奨学金制度の利用促進に努めたい。



子どもは、家族や地域の宝



これえだ
是枝 みゆき
議員

動画はコチラ

伊集院駅周辺の観光看板等の充実を 魅力ある駅周辺の整備を引き続き研究

問 伊集院駅のデジタルサイネージ3台と、駅前観光案内所のパブリックビューアーの現状と今後

答 はい。いずれも故障している。

問 デメリットを勘案すると、観光インスタグラム等に誘導する仕組みが効果的と考え、撤去を検討する。

問 駅自由通路のボードに、最寄りの観光名所案内の掲示や、外国語付きの矢

印看板の設置を。

答 矢印看板を含め、掲示内容の一部見直しを図っていく。

問 市外からも多くの方が訪れる、本庁前広場・文化会館・体育館周辺に、マップ付きの屋外大型案内板を設置しないか。

答 屋外の看板は設置費、維持管理費及び撤去費まで含め、費用対効果を十分に見極める必要があると認識する。

問 看板に市のホームページ等につながるQRコードを貼り付け、情報を更新できるようにしないか。

答 最新の情報を見てもらうことは、非常に効果が高いと思われるため、看板の内容を更新する際

観光客等の安全確保に避難誘導看板を設置を検討する

問 国道270号線沿いやその周辺に、津波高潮時の緊急避難場所への誘導標識の設置を。

答 自治会で検討していたが、標高10メートル以上かつ徒歩による津波高潮指定緊急避難場所の指定を行っている。

問 一刻も早い避難が必要であることから、比較的中に人が集まる場所には、高台への避難誘導の案内板設置を検討する。



伊集院駅自由通路の観光案内ボード

委員会レポート (所管事務調査)

文教厚生委員会

東市来幼稚園の現状と3園統合による効果と課題 義務教育学校日吉学園における現状と課題及び効果

5/1 東市来幼稚園

令和5年度末で飯牟礼幼稚園と土橋幼稚園が廃園となり、東市来幼稚園に統合された。統合後の運営状況や変更された内容、統合されたことによる効果と課題等について調査する。



日吉学園における視察の様子

5/1 日吉学園

日置市で初となる義務教育学校日吉学園が誕生して3年が経過し、学校の現状と効果、また課題について調査する。

開園後まもない東市来幼稚園、また、3年経過した日吉学園は、先生方の努力もあり、いずれも順調に運営されていた。



富迫克彦委員長



とめもり こういちろう
留盛 浩一郎
議員

動画はコチラ

消防団への装備、優遇について

問 各種装備については、令和2年度予算要求で検討を進めているとの答弁であったが、現状を伺う。

答 令和2年度に消防団設備整備補助金を活用して、自動体外式除細動器3台、チェンソー13台、切創防止用保護衣18着、救命胴衣85着を整備した。

問 消防団員への優遇は十分だと認識しているか。

答 今年度中に消防

団員証の交付を行う予定。

問 来年度以降は、消防団員が協力店舗等で割引などの優遇措置を、受けられるような制度を始めたいと考える。

郷土芸能保存についての対応策は基本構想に反映 市民から意見を集める

問 民俗芸能伝承活動支援事業費は何年度から支給され、効果があつたのか。

答 平成24年度から取り組んでおり、効果としてはこれまで休止していた団体の活動再開、活動に伴う備品購入の充実、担い手育成などの効果が図られている。

問 さつま町の教育委員会では、郷土芸能の保存、継承に向けて意見交換会を年

4回実施する。日置市においても、今まで以上に市民参加の枠を拡大しながら取り組みたいとの考えだが決意は。

答 新たな試みとして市民の参画による対話を重視し、伝統文化も民俗芸能関係者や有識者等の市民から広く意見を集め、基本構想に反映させ、保存・継承の将来像を描いていく。

その他の質問

●消防団車両に広告掲載の考えは



消防団車両

陳情第7号

現行の健康保険証の存続に関する陳情書

提出者：尾立 隆男氏

陳情要旨 政府は、マイナンバーカードの取得は任意としつつも、2024年12月2日以降、現行の健康保険証を廃止するとしている。いろいろなトラブルも発生しており、国民の不安は払拭されていないことから、長年、安定的に運用されてきた健康保険証を残すことが必要であるとして、その決議と、関係行政庁への意見書の提出を求める陳情。

賛成討論

カードの暗証番号を忘れてたり、顔認証がうまく認識できず、医療機関の窓口で混乱するケースが見受けられる。
また、資格確認書の発行により、医療を受けられない方はいないとの説明であるが、それなら現行の健康保険証を存続させたほうがよいと考えることから賛成すべき。

不採択

マイナンバーカードと健康保険証が一体化される2024年12月2日以降、マイナンバーカードをお持ちでない方には、資格確認書が、各人に郵送されるので、従来と同じように診療が受けられることから不採択とすべき。

反対討論

◆陳情賛否表

陳情番号	賛否表 (並松議員は議長のため、表決には参加しない)																		結果	
	中村(清)	福田	長倉	下園	佐多	是枝	富迫	重留	福元	山口(政)	中村(耐)	留盛	黒田	下御領	山口(初)	坂口	漆島	池満		並松
陳情第3号	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	-	不採択
陳情第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	-	採択
陳情第7号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	-	不採択

● 議会広報紙の視察を受け入れました！ ●

4/24

いちき串木野市議会
議会広報特別委員会



いちき串木野市議会の皆さんと

5/13

大分県杵築市議会
広報広聴委員会



杵築市議会の皆さんと

いちき串木野市議会と大分県杵築（きつき）市議会の議会広報紙に係る委員会の行政視察を受け入れました。議会だよりの作成時に工夫している点や課題など、活発な意見交換をしました。

陳情のゆくえ



陳情第3号

川内原発20年延長に関する陳情書

提出者：黒岩 廣樹氏

陳情要旨 能登半島地震で原発事故の脅威が改めて明らかになり、地震が起きないという保証が無い限り、川内原発の20年運転延長に反対する決議を行い、県などが決定した各種決定の白紙撤回を求める陳情。

賛成討論

川内原発の20年運転延長に不安の声がある。特に老朽化した40年を超える原発施設については、一刻も早く運転を停止するべきである。

不採択

川内原発の運転延長については、原発廃止後の電力を何で供給するのか、代替エネルギーも示されない中、現状でできる十分な安全対策を行い運転を延長すべきである。

反対討論

陳情第6号

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情

提出者：西川 裕子氏

陳情要旨 職員が庁舎内で政党機関紙の購読を勧誘され、その際に心理的な圧力を感じたということがないのかどうか、職員に寄り添った調査の実施を求める陳情。

賛成討論

執行部が実施した調査で、政党機関紙の購入者数は把握できたが、陳情の趣旨は、職員が心理的な圧力を感じたことがないのかどうかを求めるもので、調査を行うべきである。

採択

職員で政党機関紙を購読している人数は22名と確認できたことから、それ以上の心理的な圧力を感じたかどうかの調査は必要ない。

反対討論

第77号の表紙

第7回日置市消防操法大会

5月19日、コトブキサッカーフィールド吹上の駐車場において、第7回日置市消防操法大会が開催されました。

その大会の終盤、女性消防団員による操法が披露されました。

日置市消防団総務部に所属する女性消防団員は19名で、昨年8月27日、霧島市で開催された県女性消防操法大会では、準優勝の成績を収めた素晴らしい実績があります。

操法大会を拝見して感じたことは、男性消防団の操法も年々レベルが向上し、タイム・規律共に全国大会レベルに近い成績結果を残されています。

その背景には、霜の朝も出勤前に訓練するなど、日々の訓練の成果があるようです。



一方、女性消防団も、多忙な日々の中で、真夏の暑い時期に、男性消防団以上の訓練をされていると聞いています。そうした訓練の積み重ねが、市民生活の安心安全を支えて頂いていると深く感謝しています。今後の活躍にも期待しています。

9月の定例会スケジュール

※日程は、都合により変更になる場合もありますので、ご了承ください。



日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
			本会議 (初日)			
8	9	10	11	12	13	14
			本会議(一般質問)			
15	16	17	18	19	20	21
		委員会(補正予算)		委員会(R5決算)		
22	23	24	25	26	27	28
		委員会 (R5決算)				
29	30	10/1	2	3	4	5
		予算・決算 審査特別 委員会				
6	7	8	9	10	11	12
		本会議 (最終日)				

編集後記

今回、日置市の人口ピラミッドに注目しました。

団塊の世代が大きく膨らみ、介護施設の人手不足が心配されますが、次世代の人口が減少し、早々に介護施設を増やすことはできません。

数年前、二年間ほど認知症の母を介護しましたが、休日は無く、終わりの見えない日々が続き、疲弊の連続でした。

「在宅介護」は理想的な考えですが、老老介護や共働きの中での介護は、困難を極めます。

今後は、行政・民間・関係機関との連携した体制が望まれます。

何が得策か今一度、議論してみませんか、平穏な生活を送るために。
(重留健朗)

《発行責任者》 並松 安文
議長
《広報編集委員会》
委員長 山口 初美
副委員長 坂口 洋之
委員 池満 渉
委員 漆島 政人
委員 中村 尉司
委員 山口 政夫
委員 重留 健朗
委員 富迫 克彦
委員 佐多 申至